卒業研究評価実験計画

2015/12/21

横山研究室４回生

川口貴大

1. 実験概要

OpenStack内機能のひとつ「Heat」で使用するテンプレートファイルを手動で作成した場合と、開発したGUIToolを使用して作成した場合の所要時間差（Heatテンプレートファイルに関する説明ドキュメントを受け取ってからの学習時間と実際にテンプレートファイル作成に取り掛かった作業時間の合計）、テンプレートファイル作成の精度差（手動の場合正しいテンプレートファイルが作成できなければ正しく作れなかった事例として記録）を比較する。

1. チェック項目について

以下にチェックする項目について記述する

* 学習時間

説明ドキュメントを受け取ったところから計測開始。作業に移るまでを記録する。途中でドキュメントに目を通しなおすときも、学習時間として計測する。

* 作業時間

ドキュメントを読み終えてから、テンプレートファイルを作成し終えるまでを計測する。

* テンプレートファイル作成成功数

記述ミスが発生せず正常にテンプレートファイルが動作した場合にカウント。

* テンプレートファイル作成失敗数

記述ミスが発生し、テンプレートファイルが正常に動作しなかった場合にカウントする。

1. 実験内容

以下に示す６通りの構築内容を、まず初めにGUIToolで構築した後手動でHeatテンプレートファイルへの入力を行ってもらう。

1. Instanceを１つのみ作成。
   * 使用するimageは「centos-test」、flavorサイズは「m1.medium」
   * instance名は「instance1」
   * 使用するネットワークは「demo-net1」
2. Instanceを２つ作成
   * 使用するimageは「centos-test」、「cirros-0.3.3-i386」
   * Centos-testを使用しているinstanceの名前は「centos-instance」、cirros-0.3.3-i386を使用しているinstanceの名前は「cirros-i386-instance」
   * 使用するネットワークは「demo-net1」
3. Instanceを３つ作成
4. Instanceを４つ作成
5. Instanceを５つ作成
6. ２つ目のRouterを作成後、instanceを５つ作成
7. あ
8. あ
9. あ